

第四十回句会 俳句

【高点句】

- ☆小流れや光を孕み春近し  
〈眞澄〉
- ☆寒晴や水分石の音分けて  
〈明美〉
- ☆裸木の透く青空の淡々し  
〈明美〉
- ☆雪吊の影の穏やか苑の午後  
〈明美〉

【各自一句】

- ・池の面の水脈長々と春隣  
〈眞澄〉
- ・名園の静けさ被る寒鴉  
〈一馬〉
- ・生姜湯に頬ずりをしてひと休み  
〈奈美〉
- ・梅早しポッププーンのように咲く  
〈撫子〉
- ・初日の出後光優しき富士の山  
〈童心〉
- ・新成人自撮りに割込む顔顔顔  
〈静〉
- ・ビルの間になす人や福詣  
〈青蛙〉
- ・欲望の冬芽の赤き先に満つ  
〈莫院〉
- ・早梅のほがらかなりや紀州庭  
〈茂〉

\*以上、30句（3句ずつ10名）より、選句は10名により4句ずつ

\*高点句は、高得点の句より3句（今回は第2位が同点で3句）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に

偶然記載された順に掲載）